

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	Sustainable Tourism I		（ TCR224 ）
講義名（コード）	TCR_Sustainable Tourism I_A		（ TCR224A ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	英語ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	開場 美枝	時間数	30
成績評価教員	開場 美枝	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	本講義は、関連分野で活躍した講師による授業である。	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力および専門力におけるサービス分野の学びの中で、自国と他国の風土を理解した上で、ホスピタリティとサステナビリティの体系的習得と実践を行う。サステナビリティの理解とホスピタリティの発揮が求められる各業界や企業において、現場で具体的なアクションや提案ができるようになる。
全体の内容と概要	SDGsに対する理解を深め、ホスピタリティが求められる業界・職種・シーンにおいて、サステナビリティ、ビジネス、顧客満足のバランスが取れたコミュニケーションが取れるよう講義と演習を行う。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	授業スケジュールと内容は、祝日や学校行事等との兼ね合いで調整される可能性がある。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	SDG s サステナブルツーリズムについて調べ理解することができる。	オリエンテーション SDGsについて理解する。サステナブルツーリズムとは何か
2	SDG s について知識を深める	SDG s についてさらに理解を深めるためにクイズ形式で出題をする。
3	日本地図と日本の世界遺産の地名の読み方と所在地を確認する	日本の各地方と都道府県の場所を確認する。日本の世界遺産の所在地と地名の確認をし、白地図にしるしをつける。（プリント提出）
4	日本の世界遺産の説明ができる	日本の世界遺産について調べたことを説明する。
5	日本の世界遺産とSDG s について調べる。	日本の世界遺産とSDGsについて調べる。
6	日本の世界遺産とSDG s について発表ができる。	日本の世界遺産とSDGsについて発表をする。
7	日本の世界遺産とSDG s について発表ができる。	日本の世界遺産とSDGsについて発表をする。
8	日本の世界遺産とSDG s について発表ができる。	日本の世界遺産とSDGsについて発表をする。
9	日本の世界遺産とSDG s について発表ができる。	日本の世界遺産とSDGsについて発表をする。
10	池袋エリア及び近郊のSDG s を調べ案内ができるように準備をする	池袋エリア及び近郊でSDG s を取り入れた観光スポットの案内準備をする。
11	観光スポットのSDG s を調べ案内ができるように準備をする。	観光スポットの情報収集と現地の下見をしてその場所や付近の写真を入手する。
12	ガイド案内の準備をする。	観光スポットの場所とその付近の写真や動画を見て案内する内容をまとめる。
13	課外授業	ガイド演習日（観光スポットにてガイド案内をする。）
14	期末試験	期末試験（ガイド演習の実技試験）
15	振り返りとまとめ	振り返りとまとめ

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	プリント
参考文献・資料等	株式会社 学研プラス：世界がぐっと近くなるSDG s とボクらをつなぐ本 / 株式会社 文溪堂：国谷裕子と考えるSDG s がわかる本 / 株式会社 平凡社：自然保護とサステナブル・ツーリズム
備考	